

みんなで考える みどりづくり

2002年
No 6-2

<北西部>

課題・テーマ	市民は?	企業は?	市(行政)は?	その他〇〇は?
1.みどりを創る 公園整備	<ul style="list-style-type: none"> 地域緑化への参加 緑地公園整備に向けて、地域で守られることを決める 地域緑化に対する青少年の参加運動 ボランティア団体等による支援協力 公園管理ボランティア制度の創設、及び参加する 地権者による余剰空地の提供 自宅の庭の緑化と保全 家庭で不要になった樹木を樹木銀行へ寄付する 	<ul style="list-style-type: none"> 工場敷地内、及び周囲の植栽と維持管理 病院敷地内の緑化 鉄道沿線の緑化・美化、景観の保全 商店会が一緒にになって緑化に努める 商店街で街路樹の保護と維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> バランス(配置・目的)のとれた公園整備 安心して遊ぶことのできる公園整備の計画(小さな子供から高齢者まで) 飛び地になっている公園を連絡できるようにする(例えば「みどりの散歩道」などのように企画する) 斜面樹林の保全対策 地域と一緒にになって考え、みどりの多い斜面樹林地の保全のための計画づくり 私有の斜面樹林を開発から守るための制度 新たな公園管理体制づくり 家庭に苗木を斡旋する 	<ul style="list-style-type: none"> 公共・公益施設(道路整備に伴う綠化、駅前広場の緑化) 学校は校庭・校舎の緑化を図り、維持管理に努める 水とみどりのリンクを考えた計画 河川の水質を向上し魚が住むようになる(夏季になると、霞ヶで壁が大量に死んでしまうので) 市は緑化環境税などを設け、公園整備の推進を行う 将来、生産緑化の公園化に向けて財政的準備をする 市川市みどりの基金の活用と資金を集めるPR 企業から賛助金を求め、その対価としてPR看板等を設置
2.みどり・公園の魅力 向上 真間川・国分川等の河川をみどりの輪として緑化を進める	<ul style="list-style-type: none"> 市民の手により植栽を行う 公園に隣接する民家の緑化 ボランティアとして公園、真間川、国分川の緑化に参加 国分川の調節池早期完成へ向けて樹種の選定に参加 市民参加でみどりの回廊をつくり、維持管理は市民が行う 川の水をきれいにするために木を大切にし、人と人とのふれあいをつくる 真間川や国分川の水質の向上を図り、魚が遨遊できるようにしたい 水とみどりの回遊ルートの設置 	<ul style="list-style-type: none"> みどりの回廊の樹木の設置費用の一部を企業が負担し、その対価として企業名の入った看板を設置 樹木の提供(保全を含む) みどりの輪内の企業敷地は緑化に協力する 	<ul style="list-style-type: none"> 河川沿いの道路を車両通行止めにして、歩行者が安心して散策でき、うるおいがもてるよう高木を植栽する 真間川、国分川に面する公共施設(学校、公園)の緑化と保全 下水道施設の早期完成 ボランティア活動への支援 真間川と国分川に桜の木を推進する 「みどりの回廊設置委員会」を発足する 	
3.みどりの公園を守る 斜面樹林、クロマツの保全	<ul style="list-style-type: none"> クロマツを守るために、地域市民がそれに賛同する 斜面樹林、クロマツの保護に目を向ける 斜面樹林の保護をボランティアで行う 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア団体等への技術指導 企業は色々な面で参加し、ボランティア活動する クロマツ保護基金をつくり、それに寄付する 	<ul style="list-style-type: none"> 斜面樹林の保全対策を立てる 市街地のクロマツを公有化する 樹木が古木化しているので、植栽を制度化する 管理などの人づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 緑化管理機構の設置により保全を図る

